

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	①なわとびカードや資料を活用し、短なわ、長なわの活動を年間通して複数回行い、体力向上を図る。 ②食育計画の見直しを図り、計画に則って、継続的に取り組んでいく。給食時間などで、栄養士と児童が関わる場面を設定し、栄養や食事の意義について、学べるようにする。
担当	体部会

健やかな体に関わる本校の状況
<p>昨年度の横浜市体力・運動能力調査で、本校の児童の運動時間が比較的多いことが分かった。また、昨年度の学校評価アンケート結果から、健康や安全について考え、規則正しい生活に努めて生活している児童が多いと思われる。ただし、活動に制限がある中で、すすんで体を動かそうという意識をもって過ごしている児童とそうでない児童と意識の差が見られる。長期にわたる感染症への対応の影響も考えられる。保護者アンケートの結果をみても、体を動かす活動ができなかったことが多く、体力が低下傾向になっていると思われる。</p> <p>昨年の実施状況としては、なわとび大会を2回実施した。また、「なわとびカード」を配布し、児童が短縄に取り組み活動を行った。しかし、学年やクラスによって取り組み方に差があったり、年間を通して取り組みが続かないこともあった。</p> <p>給食関係では、給食カレンダーの取り組みを、給食委員会が中心となって実施した。</p> <p>縄跳びについては、体力向上を目指して継続的に行う必要があると考える。</p> <p>給食については、自分の健康に直結するものの一つとして食への意識と関心を広げていきたい。</p>

今年度の目標
①短縄や長縄などに進んで取り組み、自分から運動する習慣を身に付けようとする意識を高める。 ②給食や栄養の意義について知るとともに、食事や栄養が体の健康に深く関わっていることを考えて生活できるようにする。

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ●「なわとびカード」を4月に配布し、年間の取組みへの見通しをもてるようにする。 ●運動会に向けて短縄や長縄の練習を行い、年間の取組みへのきっかけとする。 ●学校保健委員会の取り組みと関連付けて、全校が食事や栄養が健康と深く関わっていることを意識して生活できるようにする。
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ●「なわとびカード」を活用し、定期的に指導を行い、継続的に短縄に取り組むようにする。 ●縄跳び大会を行い、全校で短縄や長縄に親しむ機会を設ける。 ●給食週間に、給食や栄養の意義について知ったり考えたりできる機会を設け、給食や栄養に関する知識や経験を積み重ねられるようにする。 ●給食中や給食週間に栄養士と児童が関わり、より食事や栄養に興味をもって学べるようにする。